

第 11 回 Word編 (7) レポートや論文作成の応用 2

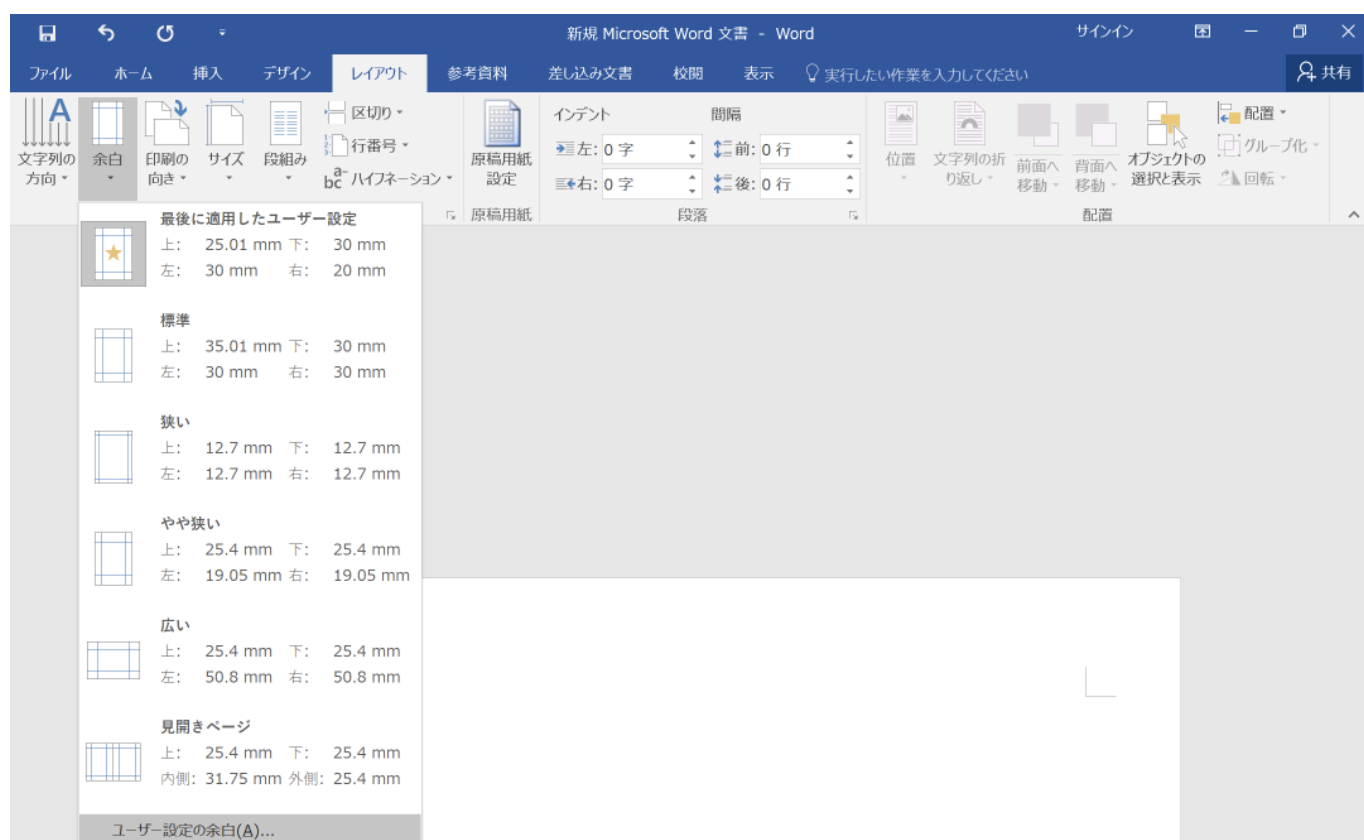
担当者：張 俊超 (チョウ シュンチョウ)

Part I

1 長文作成の機能

1.1 ページ設定

余白の設定



「レイアウト」タブの下で、「余白」のボタンを押して、余白を「標準」、「狭い」、または「やや狭い」などに行うことができる。レポートを作成するときに、余白の設定は要求されなければ、設定せず「標準」の余白を使った方がいい。

特定の余白を要求される場合、「ユーザー設定の余白」で自由に設定できる。

ページ設定

文字数と行数 余白 用紙 その他

余白

上(T): 35 mm 下(B): 30 mm

左(L): 30 mm 右(R): 30 mm

とじしろ(G): 0 mm とじしろの位置(U): 左

印刷の向き

☒ 縦(P) ☐ 横(S)

複数ページの印刷設定

印刷の形式(M): 標準

プレビュー

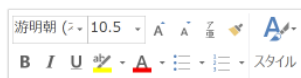
設定対象(Y): 文書全体

既定に設定(D) OK キャンセル

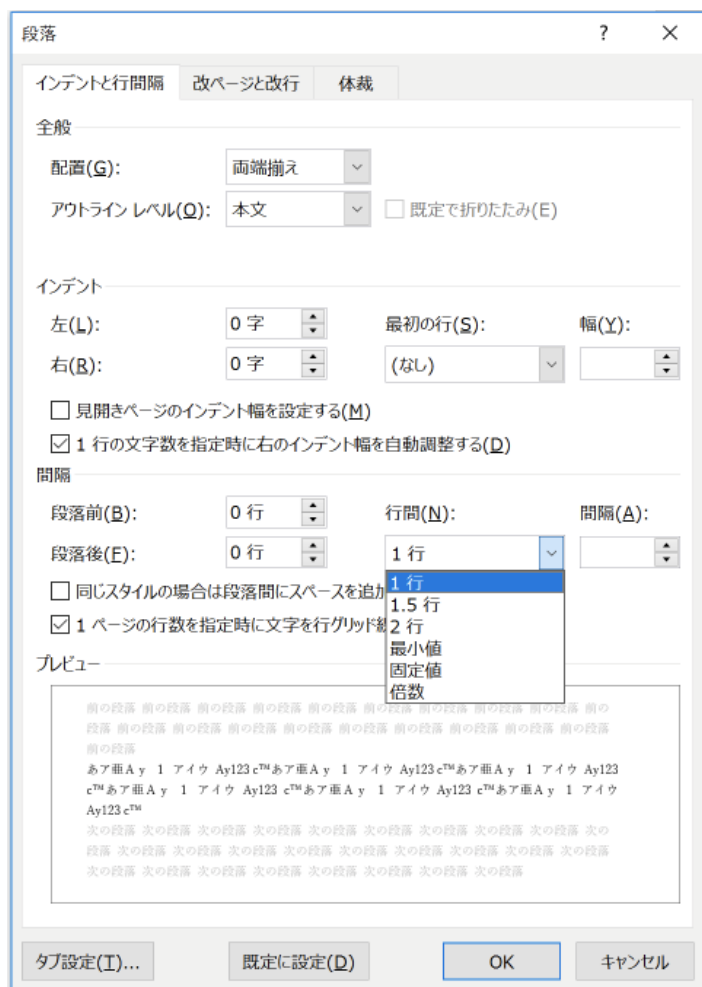
上、下、左、右の余白はそれぞれ設定できる。上下25mm、左右20mmで設定してみてください。

注意してほしいのは、卒論、修論などを作成するときに、左右は非対称の設定をした方がいい。（左を綴じるので、左30mm、右20mm）

文字数と行数



普通は、行数を調整する場合、マウスを右クリックし、「段落」の下で、行間を設定することができる。



卒論、修論などを作成するときに、特定の文字数と行数が要求される場合、固定の書式を使わないといけない。

「レイアウト」タブ、「余白」－「ユーザー設定の余白」で固定的な文字数と行数を設定できる。その設定はページ間に共通する。

The screenshot shows the 'Page Setup' dialog box with the 'Margins' tab selected. The 'User-defined margins' section is active, showing settings for text direction, text count, and line count. The 'Text direction' section has 'Horizontal (Z)' selected. The 'Text count and line count specification' section has 'Specify text count and line count (H)' selected. The 'Text count' section shows 'Text count (E): 40' and 'Line count (I): 10.5 pt'. The 'Line count' section shows 'Line count (B): 30' and 'Line count (I): 21.9 pt'. A preview of a document page is shown at the bottom left. The 'Set for (Y):' dropdown is set to 'Entire document'. The 'OK' button is highlighted.

ページ設定

文字数と行数 余白 用紙 その他

文字方向

方向: ☒ 横書き(Z) ☐ 縦書き(V)

段数(C): 1

文字数と行数の指定

☐ 標準の文字数を使う(N) ☒ 文字数と行数を指定する(H) ☐ 行数だけを指定する(Q) ☐ 原稿用紙の設定にする(X)

文字数

文字数(E): 40 (1-44) 字送り(I): 10.5 pt ☐ 標準の字送りを使用する(A)

行数

行数(B): 30 (1-45) 行送り(I): 21.9 pt

プレビュー

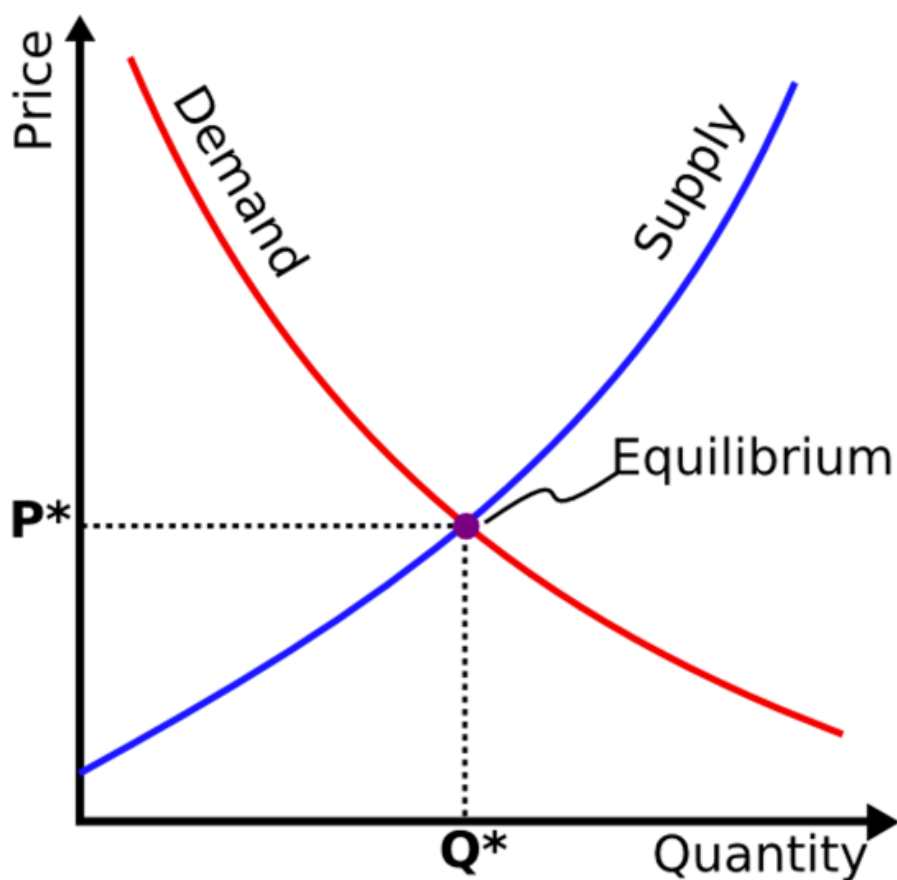
設定対象(Y): 文書全体 ▼ グリッド線(W)... フォントの設定(E)...

既定に設定(D) OK キャンセル

文字数を40、行数を30にしてみてください。

1.2 図表の注解（出所などを明記）

図の注解

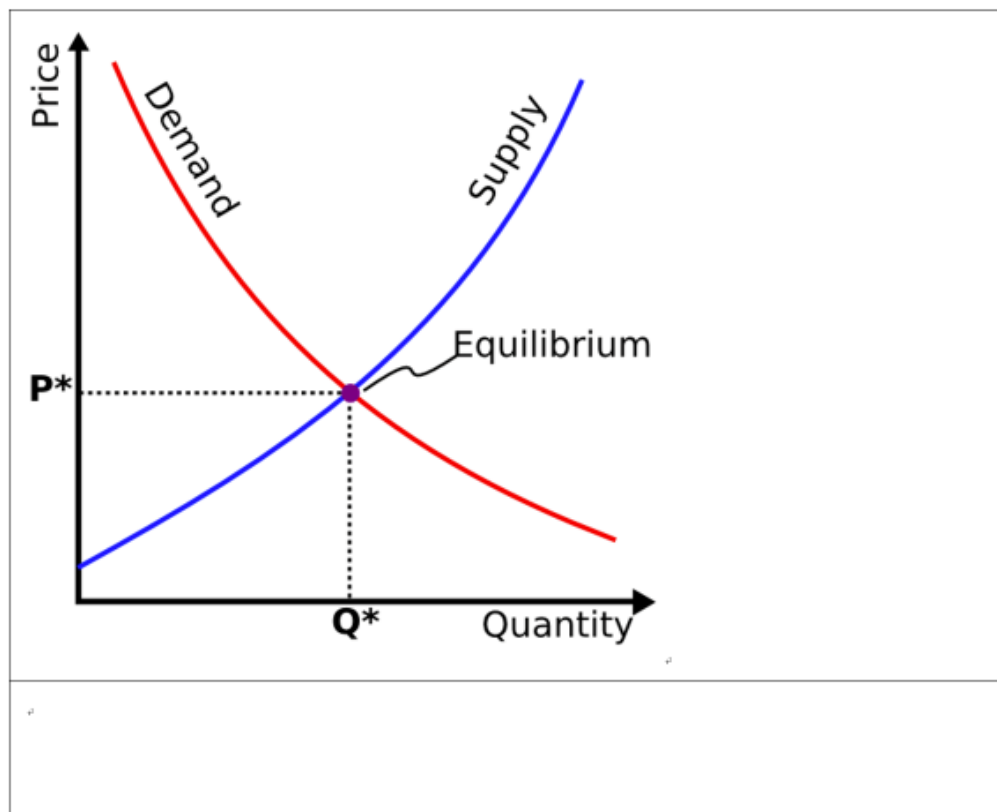


出 所：XXXXXX。この図は供給と需要の均衡を示している

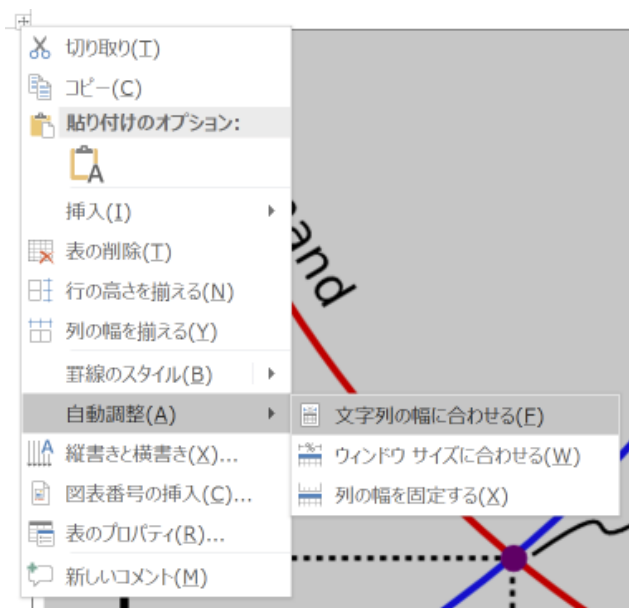
通常、図の下で、図の意味をわかるために必要な情報を注解としてつける。本文で注解を入力すると、図の幅によって、注解のインデント、改行などを調整しないといけない。

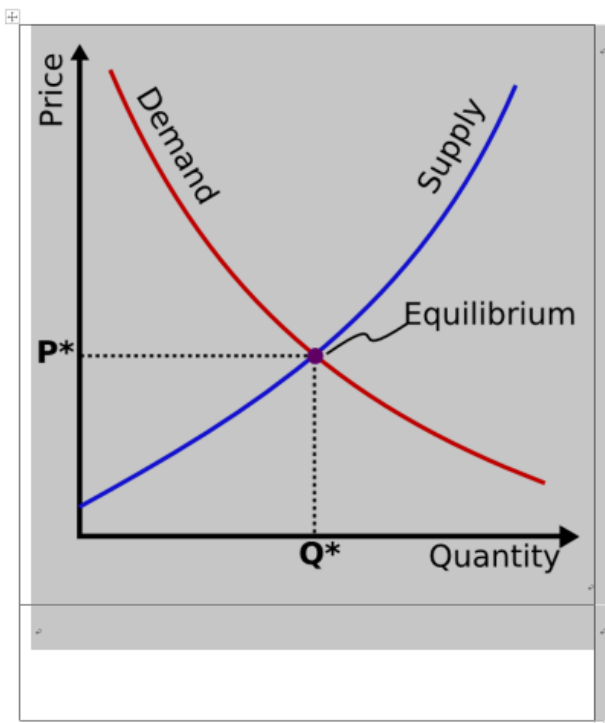
図や注解の幅を揃えるために、表の機能を使った方がいい。

（１）一列２行の表を作って、１行目に図を入れてください。



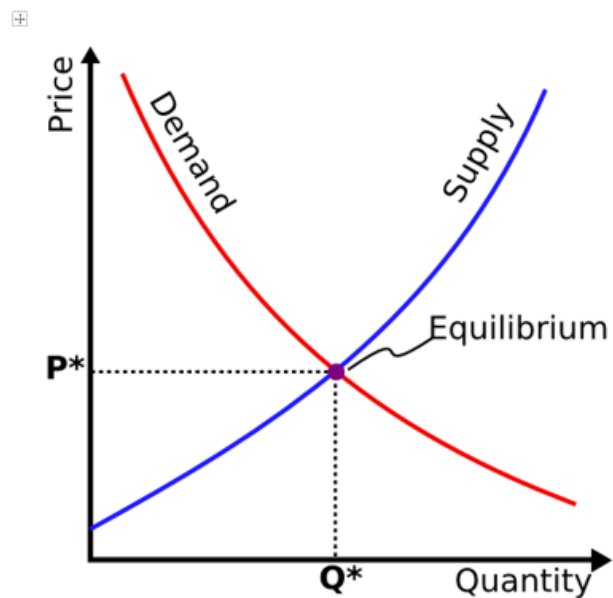
(2) 図に右クリックし、「自動調整」で「文字列の幅に合わせる」を選び、幅を揃える。そして、右クリックし、「自動調整」で「列の幅を固定する」を選ぶ。





(3) 注解を入力、図の配置を調整など

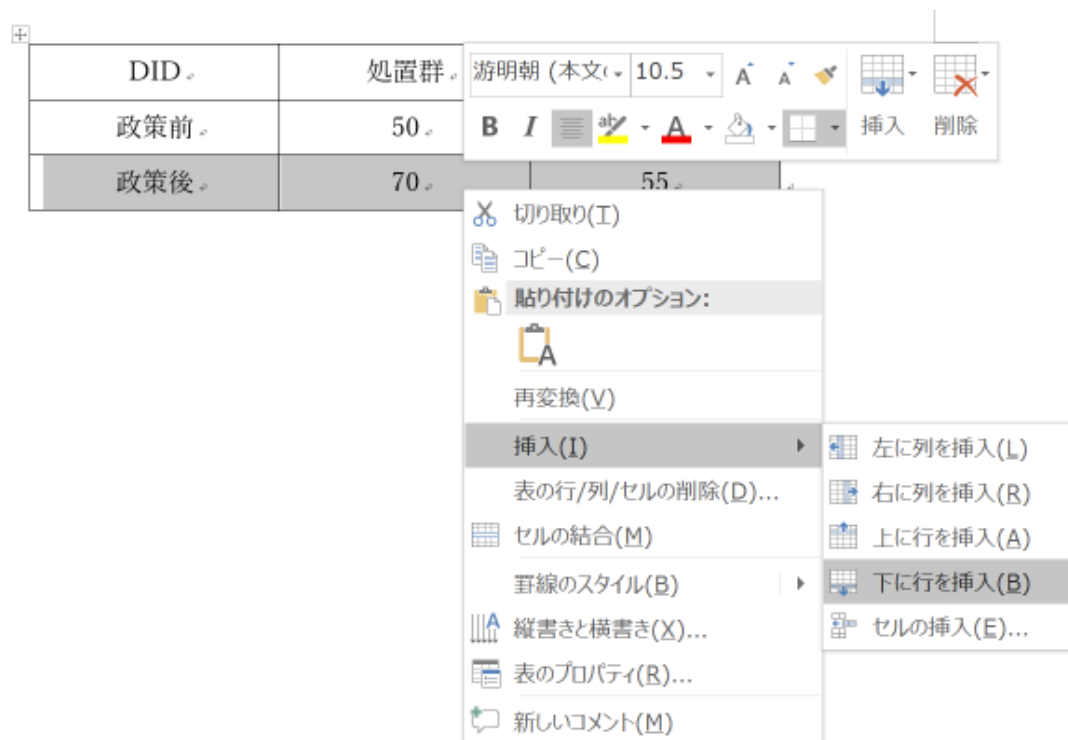
(4) 図の罫線を消す



注) この図は需要と供給の均衡状態を示す。横軸は数量、縦軸は価格である。

表の注解

(1) 表の最後の行を選んで、その下に新しい行を作る。



DID	処置群	対照群
政策前	50	51
政策後	70	55

(2) セルを結合してから、注解を入力する。

DID	処置群	対照群
政策前	50	
政策後	70	

游明朝 (本文) 10.5 A A
 B I 挿入 削除

- 切り取り(I)
- コピー(C)
- 貼り付けのオプション:
- 再変換(V)
- 挿入(I)
- 表の行/列/セルの削除(D)...
- セルの結合(M)**
- 罫線のスタイル(B)
- 縦書きと横書き(X)...
- 表のプロパティ(R)...
- 新しいコメント(M)

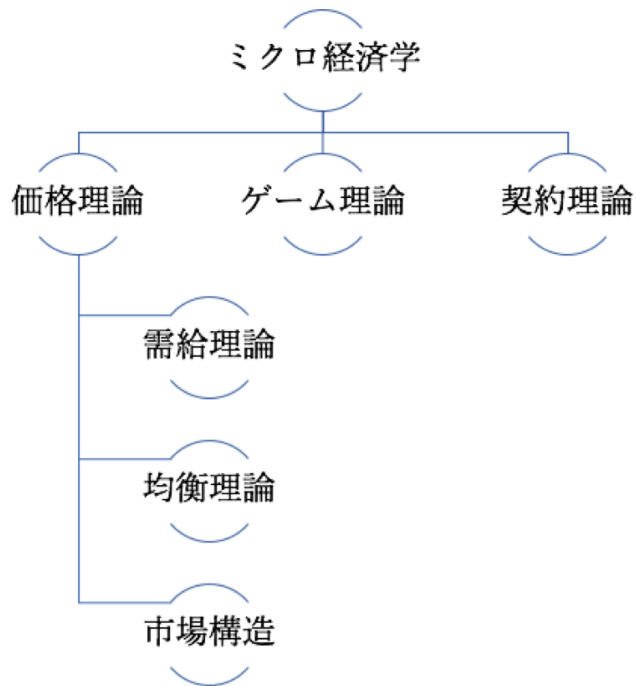
DID	処置群	対照群
政策前	50	51
政策後	70	55
注) 処置群は...		

(3) 注解まわりの罫線を消す。

DID	処置群	対照群
政策前	50	51
政策後	70	55
注) 処置群は...		

Part II

2 課題



- 1、上記の図に基づき、wordで見出しを作成してください。見出しの書式は自由だが、手入力で番号をつけないこと。
- 2、それぞれの見出しの定義をネットで検索し、「本文」としてwordの中で保存してください。
- 3、余白を上下15mm、左右20mmにしてください。文字数を35、行数を30にしてください。
- 4、文末（つまり契約理論の後）に任意の「ミクロ経済学」の教科書の表紙を挿入し、その下に「著者+出版社+出版年」を注解してください。（Ciiniで「ミクロ経済学」の本が検索できるし、出版に関する情報もついてる。）
- 5、「ミクロ経済学」の教科書を文献として挿入、文献目録を作ってください。（学校のパソコンでは、RISファイルがアップロードできないので、教科書の情報を入力して、作成してください。）

資料文献の作成

?

×

資料文献の種類(S)

書籍

▼

言語(L)

既定

▼

APA の文献目録フィールド

著者

編集

☐ 著者 (組織/団体)

タイトル

年

市区町村

発行元

☐ すべての文献情報フィールドを表示する(A)

タグ名(I)

プレースホルダー1

OK

キャンセル